羽ばたこう 立志の丘から

学校通信

平成27年7月13日 No.14

「あいさつこだき運動」第二弾

& 交通安全街頭指導

7月6日からの週は、夏の交通安全街頭指導期間として、PTA校外指導部員の皆様のご協力のもと、生徒・教職員も一緒に朝の街頭指導を行いました。



また、春に続いて、小・中連携の一環として、小学校玄関前での「あいさつこだま運動」を行っております。今回は、3年生が小学校に出向いてあいさつ運動を行いました。小学生の元気な「おはようございます!」に、3年生の生徒は、自分たちの小学校時代を思い出した様子でした。

7日は、「社会を明るくする会」の会員の皆様も 小学校の玄関であいさつ運動を行っており、地域 全体で「あいさつの輪」が広がっているようにも感 じられました。**地域の元気はあいさつから!**



なお、「社会を明るくする会」では、毎年7月は、 犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行を した人の立ち直りを目指しての「社会を明るくする 運動」強調月間としていることから、7日には本校 にも訪問して、啓発活動への協力依頼がありまし た。中学生も実施しているあいさつ運動等により、 社会を明るくする運動の一翼を担いたいものです。

体育の授業 「ベースボール型」球技

爽快な青空の下、遙かなる鳥海山をバックに、 本校生徒の体育の授業が展開されております。男 女共修のベースボール型の球技としてソフトボー ルを学習しております。授業後は、どの生徒も十 分に汗をかきながら、「楽しかったぁ!」と感想を 述べて教室に帰って行きます。

現在の学習指導要領では、「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する観点から、ボール操作などの特性や魅力に応じて、相手コートに侵入して攻防を楽しむ『ゴール型』、ネットをはさん

で攻防を楽しむ『ネット型』、攻守を交代して攻防 を楽しむ『ベースボール型』に分類して、第1学 年及び第2学年においては、これらの型のすべて を履修させること」となっております。また、「ベ ースボール型」の実施に当たり十分な広さの運動 場の確保となっていますが、本校はこの条件をク リアできるので、ソフトボールを学習しています。



ところで、本校の体育の授業を参観したある方が、「体育の時間に、めあてが確認され、十分な活

動の後には、学習のまとめと振り返りがあって驚いた」と言ったとか言わないとか。

投げたり打ったりする 技能が体育の時間の1時

間てをそったとしたととして、「とたとしたととのででであ」とたびではいて、「とたとのでででありたが、といびででありたが、か感、からにない。



指導主事学校訪問

8日は、南教育事務所 小坂指導主事、同仙北 出張所 加藤指導主事、大仙市教育委員会 大阪 指導主事・築地指導主事の4名の指導主事の先生 方から学校訪問をしていただき、ご指導を賜りま した。

1年A組の社会科歴史の授業では、大化の改新 後の国づくりについて自分の考えをまとめる学習 を、また、3年B組の数学科の授業では、二次方 程式を平方根の考えを使って解くことについての



学習を参観いただき、 それぞれ丁寧にご指導 を賜りました。

4名の指導主事の先 生方からは、生徒たち の姿に学習意欲を感じ る授業であったとお褒 めの言葉をいただきま した。

3年生の数学においては、分からないからこそ解きたいという授業前半の意欲ある姿、また、授業終了後に、素直に「難しかったぁ」

と言った姿に、生徒同士はもちろんのこと、生徒 たちと先生たちとの人間関係の良好さを見ること ができたとともに、学習に真剣に向かっているか らこそ出てきた一言であったと講評されました。

1年生も、限られた時間の中で歴史の転換点であり様々な立場で論じられる大きな課題に、一人一人が向かっていて、こちらも学ぶ意欲が育まれている生徒たちだと講評していただきました。

指導の先生方には、 学び合いによる授業づくりや1時間の授業の 展開と学習内容、また、 授業のねらいや評価等 についてきめ細かに指 導していただきました。

学力については、「基 ではな知識及び技能を 習得させるとともに、 これらを活用して課題 を解決するために必要 な思考力、判断力、表 現力その他の能力をは ぐくみ、主体的に学習





に取り組む態度を養うこと」というように、学校 教育法第三十条に規定されていますが、基礎的な 知識・技能とこれらを活用する力、そして、学習 意欲が学力の三要素と言われます。

最も大切とされる学習意欲が認められた本校の 生徒たちですので、さらに向上できるように、保 護者や地域の皆様の支援を得ながら、生徒たち、 教職員共に、今後ともがんばっていきたいと思い ます。ご支援よろしくお願いいたします。

吹奏楽 県南コンクール 銀賞受賞!

11日(土)は、第57回全日本吹奏楽コンクール秋田県大会県南地区大会でした。会場は、大曲市民会館大ホールで、本校は中学校小編成の部に出場し銀賞を受賞しました。大会後、部員の自分たちが納得できる演奏ができたという感想が何よりでした。本校は、午後の部のトップバッター

で、バレエ組曲「青銅の騎士」を演奏しました。「青 銅の騎士」は、旧ソ連の作曲家レインゴリト・グ リエールが手掛けたバレエ音楽で、1832年に



作られた長編叙情詩がモチーフになっており、グリエールがそれを全4幕13曲のバレエ音楽にアレンジした曲だそうです。作曲者のグリエールは音楽教師としても有能な方で、「青銅の騎士」は非常に上品な楽曲といわれております。全日本吹奏

楽コンクールでは、習志 野市立習志野高等学校が 「青銅の騎士」を演奏し て金賞を受賞し、さらに 有名になった曲です。



景や各部からの激励メッセージのムービーを上映 後、コンクール曲の優雅な演奏を皆で聴きました。 吹奏楽部長のあいさつに次いで、生徒会長と校長 の激励の言葉、また、会の終了時には、これまで お世話になった運動部の主将等が、エールを送っ て、感謝と激励の気持ちが伝えられました。全校 生徒が同じ気持ちになれる壮行演奏会でした。

【三者面談にご協力を】

各学年部から連絡があったことと思いますが、夏休み中に三者面談を行い、生徒一人一人のよりよい生活や将来への見通し・夢を語る時間を設けたいと思っております。

隣県の岩手県では中学生の痛ましい事案も報道されております。三者面談では、ご家庭と学校が共通理解を図り、生徒の望ましい成長を支援できるようにしたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。